

現行「健康保険証」廃止の見直しを求める意見書

マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため、2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止することが決まりました。

マイナンバーカードを巡っては問題が続出しています。とりわけ「マイナ保険証」に関しては、窓口で無効と判断されて医療費の10割が請求された事例や他人の情報がカードに紐付けされていたケースが判明するなど、国民の健康や生命に重大な影響を及ぼす恐れのある深刻な問題が顕在化しています。

さらに被保険者や医療現場からも懸念の声が上がるなど、国民の不安も解消されないままに廃止が決定され、国民皆保険制度の根幹が揺らごうとしています。

今、必要とされることは、何ら不都合なく使えている健康保険証の廃止を見直して、現行保険証とマイナ保険証の選択制を打ち出していた原点に立ち返るために、政府の冷静な判断が、求められています。

政府は、「改正マイナンバー法」による現行「健康保険証」廃止について再度慎重に審議し、延期を含めた見直しを要望する。

記

1. 政府は、「改正マイナンバー法」による現行「健康保険証」廃止について再度、慎重に審議し、実施の延期を含めた見直しをすること

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出する。

令和6年6月20日

福岡県京都郡苅田町議会

衆議院議長	額賀 福志郎	殿
参議院議長	尾辻 秀久	殿
内閣総理大臣	岸田 文雄	殿
総務大臣	松本 剛明	殿
厚生労働大臣	武見 敬三	殿
デジタル大臣	河野 太郎	殿